

「ありがとう」「これからも」
感謝をこめて、ふたりで贈る結婚のお祝い返し

WEDDING GIFT PLAN

結婚お祝い返しの流れ

結婚の「お祝い返し」は、これからのふたりのために、必ずすべき大事なごあいさつ。
いただいた祝福への感謝をこめて、計画的に準備を進めておきましょう。

Flow 1 挙式・入籍前



お祝いを受け取ったら、
すぐにお礼の気持ちを伝えましょう

結婚のお祝いを受け取ったら、すぐに内容を確認し、直接伺うか、電話・手紙でお礼の気持ちを伝えましょう。メールだけだと失礼に感じられるケースもあるので注意が必要です。

Flow 2 挙式・入籍



挙式・入籍から1ヶ月以内を
目安にお贈りしましょう

お祝い返しの時期は、挙式・入籍から1ヶ月以内が目安です。入籍のみのケースも増えていますが、お祝いをいただいたら必ずお返しをしましょう。早い段階でお祝いをいただいた場合は、挙式前にお贈りしても問題はありません。

Flow 3 結婚お祝い返しを選ぶ



贈る相手の好みや
年齢、家族構成を考えて選ぶのがコツ

贈る相手のライフスタイルに合わせて欲しいものを選ぶギフトカタログの人気の高いです。また、グルメやちょっと贅沢な日用品も喜ばれます。Haresakiではバラエティに富んだギフトカタログや、グルメ、雑貨を数多くご用意。贈る相手を想像して、「贈り物上手」を目指しましょう。

Flow 4 お渡し・配送



遅くなってしまった場合は
お詫びのひとつも忘れずに

挙式1年前後はお祝いをいただくこともあります。その際は1ヶ月以内を目安にお返しをしましょう。もし事情があつてお返しが遅れてしまった場合は、お詫びのひとつを添えるようにしましょう。

結婚内祝いスケジュール



結婚お祝い返しのポイント

結婚お祝い返しの相場は「半返し」

結婚お祝い返しは「半返し」といわれ、いただいた金額・品物の半額程度の品物をお返ししましょう。想定より多くいただいた場合は、無理せず1/3程度でも大丈夫ですが、お手紙を添えるなどで感謝の気持ちをお伝えしましょう。



お祝いをいただいた方のリストを作成しておくとう便利です

「いただいた日・お名前・ご住所・連絡先・金額（品物をいただいた場合は、分かる範囲で金額の目安）・お返し（予算や品物の候補）」などをまとめたリストを作っておくと、お返しを選ぶ際にとても便利です。

列席者にもお返しがあるの？

結婚式の列席者には、披露宴のお料理や引出物がお返しのかわりとなるため「お祝い返し」を送る必要はありません。ただし、高額のご祝儀をいただいた場合には式の後に追加でお返しをするなど、お祝いに見合ったお返しをしましょう。